



連合自治会ニュース

「年度はじめに当たり」

連合自治会長 伊藤 和義

初夏を思わせる此の頃、みなさま方には益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

平素は自治会活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

本年度、連合自治会は新体制のスタートとなりますが、引き続きご支援をお願いいたします。

皆様からの期待に応えるべく「生活環境改善」に取り組んでいきます、具体的な事業としまして① 災害に対する事前対策・事後対策として「自助・共助」体制を充実する為の訓練・講習会を実施してまいりますので、積極的にご参加ください。② 都市計画マスタープランによる「橋北地区まちづくり構想」事業として、幹線道路の整備・近鉄線高架化を推進し、近隣地域との一体化を目指します。③ 長年の課題「東西橋北小学校統合」について、方向性・教育方針など保護者会と一緒に関係行政と定期会合の中で進めてまいります。

環境面について、ごみ問題（不法投棄・分別改良など）や空き地と沿道の立ち木や雑草対策は、地域住民と行政サイドで協力して、管理運営を図ってまいります。

東日本大震災における「義援金」については、皆さま方の心温まる募金カンパを頂き、誠にありがとうございました。機関を通じて「日本赤十字」に納付させて頂きました。

最後に、地区連合自治会として推薦した「村山 繁生さん」が市議会議員に見事当選されました。今後は住民の声を市政に反映していただくよう連携していきます。

自治会活動の紹介

滝川町第二自治会 会長 加藤 吉孝

当自治会は東側を国道1号線、西側を近鉄線、北側を橋北通りの三方に囲まれたちょっと騒々しい地域にあります。世帯数は95世帯と少なめですが、近年集合住宅や新しい住宅が建設され、地域内の環境が激しく変化した自治会です。この自治会が抱えている最も深刻な問題は、自治会長を選出することが非常に難しくなっていることです。住民の数が少ないうえに、自治会長をやっていただくのに適した世代の方はさらに少ないということが原因の一つにあります。その結果、自治会活動が継続できなくなるのもやむをえないのでは、というような時期もありました。現在は、そのような最悪は事態を避ける解決策として、自治会長の業務をなるべく多くの人が分担するなどして負担を軽減していく方向を模索しています。



橋北地区連合自治会 文化・広報部

発行責任者 伊藤 和義

編集責任者 高波 功